

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係 長糟谷 昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業期年度	S25		現計画	再評価時点
事業名	広域基幹河川改修事業 (二)市川水系市川	着工年度	S25	総事業費	474億円	474億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	35億円	30億円
事業区間	姫路市飾磨区阿成～砥堀			完成予定年度	H40	-
所在地	姫路市			進捗率 (内用補進捗率)	26%(82%)	20%(73%)
事業の目的				事業内容		
<p>当該河川は、一部無堤区間や狭あい区間を有し、治水上支障となる横断構造物が多数位置しており、昭和20年10月阿久根台風等、沿川地域では過去から幾度となく浸水被害に見舞われている。</p> <p>このため、昭和25年度から河川改修事業に着手したが、その後も昭和39年、平成2年に洪水被害が発生している。</p> <p>当該地域の浸水被害を防止するとともに、上流域の開発に伴う流出増に対応するため、治水安全度1/30を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>				<p>計画流量：2,400m<sup>3</sup>/s (治水安全度1/30：生野橋)</p> <p>実施内容：L=11,020m、W=212～73m 築堤、護岸、掘削、道路橋7橋、 鉄道橋2橋、井堰9基、 潮止堰1基等</p>		
進捗状況	<p>これまでに築堤による河積拡大を行い、事業区間の約8割を完了している。</p> <p>再評価時(H10)から現在までに、潮止堰の改築(H12完)を行い治水上のネック部の解消を図っており、今後も引き続き引堤、堤防嵩上工事を推進するとともに、大規模な橋梁や井堰改築に着手し、事業の重点化と効率的な執行に努め、平成40年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度に都市化した姫路市中心市街地を浸水被害から守るため、築堤、掘削、護岸、横断構造物改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため継続的な整備を実施する必要がある。</li> </ul>					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>B/C = 16.4</li> <li>阿成地区の引堤については、用地買収をほぼ終えており効率的な執行が可能。</li> <li>高木地区・兼田地区の築堤については、工事着手に向け地元調整を進めることで事業執行環境が整っている。</li> </ul>					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>潮止堰には、左右岸に異なる形状の魚道を採用し、多様な環境を創っている。</li> <li>護岸には自然石の空積や捨石工法を用いる等、生態系に配慮した改修を行っている。</li> </ul>					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>残事業には、築堤未整備区間が残るとともに、治水上ネックとなる橋梁、井堰も多数存在していることから、治水安全度は低く、沿川の市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。</li> </ul>					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			